



すまい造りメール

第10号 2003年新年号

発行日平成15年1月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139



謹賀新年

あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のお引き立てを賜わり、厚く御礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。
皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年4月より「すまい造りメール」をご覧いただきまして、ありがとうございます。お陰様で、今月で第10号となりました。お住まいに関する皆様の疑問や質問に対するお答えや地元の情報、ちょっとした生活の工夫などについて、わかりやすくお伝えしているつもりですが、いかがでしょうか。これからも新鮮なお役に立てるような情報をお届けすることを心掛けますので、ご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができれば、幸いです。

また、「すまい造り工房」では、皆様が実際に体験できるようなイベントを企画して参りたいと思いますので、お忙しいこととは存じますが、ご参加くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

皆様のご意見や感想などがございましたら、是非お聞かせください。今後の誌面作りやイベント開催の参考とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

今年の干支を漢字で書くと「未」となりますが、皆様にとってより充実した、より完成度の高い、フルマークの一年でありますことをお祈り申し上げます。

子丑寅卯辰巳午



申酉戌亥・鼠牛虎兎竜蛇馬



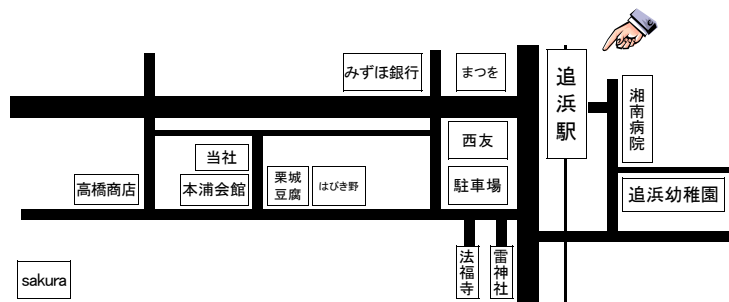
猿鳥犬猪



おっぱまき 追浜駅

京浜急行線追浜駅は、昭和5年4月1日、田んぼが広がる場所に開業されました。大正5年に浦郷村のはずれの「おいはま」に、海軍航空隊が置かれ一躍脚光を浴びたことから、その名前が駅名に採用されました。昭和40年代の追浜は、映画館が2館あり、まさに「ゴジラ」(東宝)対「ガメラ」(東映)の時代でした。現在の追浜は、正月の雷神社の「初詣」、7月の「夏祭り」、12月の「ナイトバザール」などの開催時に多くの人で賑わいます。1日に駅を利用する人を平均した、駅別1日平均乗降人員は、横須賀中央駅、京急久里浜駅について、横須賀市では3番目に多い駅となっています。

京浜急行線追浜駅 横須賀市追浜町3-3 046(865)2982



開業当時の追浜駅は、予科練関係の人たちが多く利用した。

掲載内容

ご挨拶
環境問題
街並み探訪
クイズ
コラム
など

前回のクイズの答え

①あずさ②まつ③しい
④てい⑤うめ⑥はぜ
⑦とう
少し強引ですが、続けると「あけましておめでとう」となります。

「自分は、後世に誇れるものを残せたのだ」
彼は心中で呟き、胸を張った。
「罪なくして斬らる」より
大島昌宏著(学陽書房)

ざっくばらん
雑句苗欄

横須賀製鉄所の建設に尽力し、近代工業の礎を築いた小栗の半生を描いた正月時代劇「またも辞めたか亭主殿〜幕末の名奉行・小栗上野介」が1月3日(金)午後9時(90分番組)よりNHK総合テレビで放映される予定です。

クイズ

十二支の中で、一番美味とされるものは、何でしょうか?
正解は、1月6日(月)午後5時に横須賀市の防災行政無線を使ってお知らせします。

同封書類

ライフクリエイターニュース③
太陽光発電などを活用した電化生活についての資料をご覧ください。

次号予告

住宅設備機器の耐用年数などについて取り上げる予定です。



エコエコあと楽

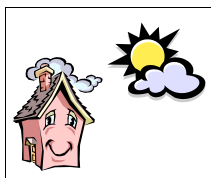
ひとむかし前までは、地球は再び氷河期を迎えるので、これからだんだんと寒くなるという説が一般的でした。ところが、1960年代頃からは地球全体の平均気温の上昇が顕著になり、どうやら温暖化に向かっているのではないかとささやかれ始めました。気温の上昇は、氷河の氷や永久凍土を溶かすだけに留まらず、記録的な猛暑や大洪水などの異常気象を引き起こし、海水水位の上昇、それと相反する干ばつなどのさまざまな異常現象が世界各地から報告されています。その原因が二酸化炭素が大部分を占める「温室効果ガス」の増加にあると指摘されるようになったのは、ついこの10年ほど前の1990年代です。

その結果、なんとかしてこの二酸化炭素の増加を防ぎ、地球の温暖化を食い止めることが、21世紀の全人類の課題となりました。そこで、1997年に京都で200カ国あまりを集めて、地球温暖化防止の世界会議が開催され、「京都議定書」なる物ができました。これは、1990年における各国の二酸化炭素の排出量のデータを元に削減目標を定めて、2012年までにそのシステムを構築することが主な目的です。日本は、6%という数値が設定されましたが、この10年ほどの間に排出量が8%増加したため、実質14%もの削減をしなければならなくなりました。経済を優先したアメリカやオーストラリアなどの国々を除き、ヨーロッパ諸国や日本は、この「京都議定書」を批准しました。日本の場合、かつて経験した「オイルショック」の教訓から、エネルギーを効率よく供給するシステムが他の国々よりも確立されていると言われています。したがって、今よりも14%の削減をすることは、とても困難であると指摘されています。政府をはじめとして、産業界は動き始めました。そのひとつがエネルギーの見直しです。「太陽光発電」「風力発電」「燃料電池」などのように、自然を有効に利用し、二酸化炭素の排出量が少ないエネルギーや製品のCMを良く見聞きすることが多くなったのはそのせいです。安全性を除けば、二酸化炭素の排出量が少なく、効率の良いエネルギー供給方法のひとつとして「原子力発電」があります。ところが、先の度重なる不祥事により、世間の「風当たり」が強くなり、フル稼働できない状態となり、目標達成を更に困難にしています。この「風当たり」の強さを「風力発電」に有効に利用できれば良いのですが…。

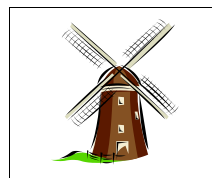
地球にとっては「オイルショック」よりも深刻な課題にもかかわらず、「環境問題」というように「ショック」でなく、「問題」で留まっているところに、まさに問題があるようです。そうかと言って、「快適さ」を手に入れた私たちは、30度を越える真夏の暑い日に、エアコンを止めることはできそうもないですし、真冬の寒い日に、温めのお湯に入れば風邪をひいてしまいます。極論を言えば、地球環境に一番良いことは、自然を破壊するような「家」など建てないことですし、人間が自然に逆らって、利便性を追求しないことなのですが、それでは、今まで築き上げてきた文化的で心の豊かな生活を否定することになります。

これからは「自然」と上手に付き合うことが大切なことのようにです。手遅れにならないうちに、対策を講じ、あとの人が「楽」になるようにしたいものです。

エコロジー（環境）もエコノミー（経済）も元をたどれば、同じ語源を持つラテン語だそうです。



太陽光発電



風力発電



燃料電池車



オール電化住宅を考える

「オール電化住宅」とは、調理・給湯・冷暖房などを「太陽光発電システム」「IHクッキングヒーター」「エコキュート」などの設備を使うことで、すべてのエネルギー源を電気に統一して、経済性、安全性に重みを置き、環境への負荷を極力少なくした「21世紀型の住まい」のひとつです。

このたび、下記の通り、「楽しいオール電化生活教室」と題して、㈱ベーシックの田原祐子氏をお招きした講演会が開催されます。お忙しいこととは存じますが、お知り合いの方々をお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

日 時	平成15年1月19日（日） 午後1時00分 から 4時00分まで
会 場	葉山町湘南国際村「生産性国際交流センター」 セミナー室A
開催内容	楽しいオール電化生活教室
締め切り	先着順で10名になり次第、締め切らせていただきます。（完全予約制）
会 費	無料（現地集合・現地解散とさせていただきます。往復の交通費をご負担ください）
お申込み	㈲佐野工務店 TEL 046（865）4010

お問い合わせ

お住いに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。また、クイズのご回答もこちらにお寄せください。ハガキや封書、FAXでもお受けします。尚、郵送の停止を希望される場合やバックナンバーやお知り合いの方への郵送を希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店 宛 TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139